

第1回中野区交通政策推進協議会（第2期）

1. 日時・会場

令和6年（2024年）10月17日（木）14時から15時

中野区産業振興センター 多目的ホール

2. 協議会の様子



3. 委員の委嘱、会長・副会長の選出

令和6年7月21日を持って第1期協議会委員の任期が満了したことから、第2期協議会委員の委嘱を行い、会長として大沢委員、副会長として寺内委員が選出された。

4. 議事

公共交通ネットワークの充実に向けた取り組みについて

【主な意見】

- 外出機会増加の効果が出ており、これはウェルビーイングという観点でもこの運行が有効に働いていると思われる。
- 満員で乗れなかった際の影響について、「外出の取りやめ」を避けたいため、回答結果の整理及び分析を行い、実態を把握すると良いのではないかと。
- 運賃の限度額調査について、70歳以上は高齢者割引証の効果で100円と回答した方が多いと捉えるか、高齢者割引証がある中で200円と回答した方が多いのか、解釈が分かれる結果である。

5. 報告事項

中野区地域公共交通計画の取組について

【主な意見】

- 「子ども・高齢者向けの案内」の中に公共交通の利用促進の案内以外にも、運転手等の担い手を増やすための取組を加えた方がよいのではないかと。
- 将来的に公共交通移動から自家用車への安易な転換を防ぐというのは重要な視点だと思う。自家用車や自動運転の車に転換すると、狭い道路に車が溢れてしまうので、公共交通とパートナー

を組まないと移動が成り立たない。そのため、公共交通の維持という観点のみではなく、公共交通とパートナーを組んでいくという観点を入れても良いのではないか。

以上